



市内体育施設で初 豊中ローズ球場で広告事業スタート

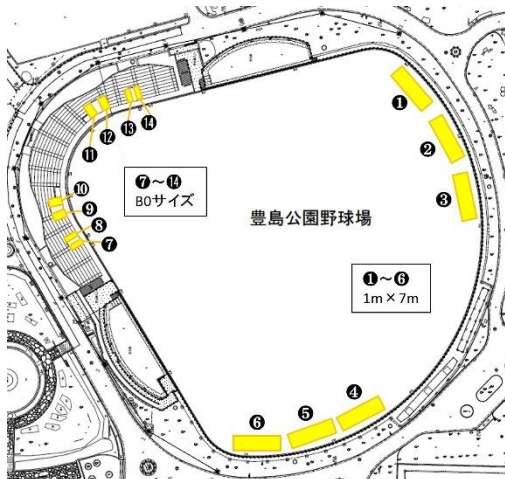
豊中市は、公共施設を活用した新たな歳入確保を目的に、豊島公園野球場（愛称：豊中ローズ球場）の外野ラバーフェンスと観客席通路壁面を広告媒体として活用する有料広告掲出事業を開始します。これは、広告代理店を通じて募集するもので、市内体育施設で初の取り組みです。

同球場は、令和 6 年（2024 年）12 月にリニューアルオープンし、高校野球発祥の地・豊中ミュージアムを併設しています。全国高等学校野球選手権大会大阪府予選やプロ野球ウエスタン・リーグ公式戦でも使用されるなど、多くの観客が訪れる本格的な球場です。今後、企業などの PR の場として活用することで、安定的な財源確保につなげるとともに、市が保有する公共施設の有効活用を図ります。

ローズ球場有料広告掲出事業の概要

- 掲出場所：豊島公園野球場（愛称：豊中ローズ球場）
外野ラバーフェンス 6 区画（①～⑥）、観客席通路 8 区画（⑦～⑭）
 - 掲出期間：令和 8 年（2026 年）6 月 1 日～令和 11 年（2029 年）3 月 31 日まで
 - 最低基準額：年額 702,000 円（税抜）※広告 14 区画分の金額での申し込み
 - 募集期間：令和 8 年（2026 年）2 月 2 日～2 月 27 日まで
- ※応募方法等は、市ホームページをご覧ください。

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/sports/support_sports/advertisement.html



【報道機関からの問い合わせ先】

都市活力部 スポーツ振興課 担当：甲斐・山村

TEL: 06-6858-3309 E-mail: suposhisetsu@city.toyonaka.osaka.jp